第６学年　道徳科学習指導案

令和７年１０月１５日（水）第５校時

１　主題名　互いに信頼し合う友情　　内容項目【B　友情、信頼】

２　ねらい　友情の在り方について、多様な感じ方や考え方を出し合い吟味する過程を通し、物理的な距離ではなく信頼し合うことが友情を深めるために大切であることに気付き、よりよい友人関係を築いていこうとする態度を育てる。

教材名　「離れていても」（出典：彩の国の道徳「未来に生きる」埼玉県教育委員会）

３　主題設定の理由

（１）ねらいや指導内容について

本主題は小学校学習指導要領の内容項目 B「主として人とのかかわりに関すること」の〔友情・信頼〕第５学年及び第６学年「友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと」をねらいとしている。これは、第３学年及び第４学年の「友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと」を受け、中学校の「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと」へと発展していく。

本指導内容は、友達との間に信頼と切磋琢磨の精神をもつことに関するものである。よりよい友達関係を築くには、互いを認め合い、学習活動や生活の様々な場面を通して理解し合い、協力し、助け合い、信頼感や友情を育めるようにすることが求められる。そばにいて共に学んだり、遊んだりするだけが友達ではなく、遠くにいても互いに信頼し合い、手紙や電話、SNS を活用して、お互いの気持ちを共有して友情を深めることも大切である。また、SNS が急速に発達し小学生の間でもスマートフォン等が普及していく中で、直接会うことは叶わなくても、オンライン上で会うことが可能になった。コミュニケーションの方法が変化しても人と人とのやり取りや、関わり方の根底にある信頼し合うことが大切であることは変わらない。このことを踏まえ、本教材では、情報機器を活用することのよさと合わせて、それらを活用する人の思いについて考えられるようにしたい。

（２）これまでの学習状況及び児童の実態について

（略）

（３）教材の特質や活用方法について

転校が決まった「ぼく」は、親友の仁に別れを告げられずにいたが、母の後押しもあり、ついに仁に気持ちを伝える。しかし、オンラインでしか会えなくなることに不安を感じ、仁から

は「離れたら友達を続けられない」と言い返されてしまう。そんな時、オンライン会議で積極的に意見を言い合いながら仕事をしている父の姿を見て、「遠く離れていても、相手への信頼があれば、友情は続けられる」と気付く。３か月後、新しい友達と仁も交えてオンライン会議で作戦会議をすることになり、「離れていても、相手を信じ、努力を続けることで、友情は深まる」ことを実感する話である。

本学級の児童の実態を受け、主に次の視点を中心に話し合い、ねらいに迫る。

① 親友である二人が離れたくないという気持ちがありつつも、物理的な距離の問題で友情が揺らいでいる場面

僕はタブレットという手段を用いることで解決できるのではないかと前向きに考えるが、仁は会いたくても会えない、離れてしまったら難しいのではないかと不安な気持ちになっているという二人の葛藤している心情や考え方の違いを押さえる。

② 父の姿や会話から解決方法に気付き、仁と親友でい続けられるかもしれないと気付いた場面

オンラインでつながるという解決方法があるが、そのためには、相手のことを信頼することや思いを伝えたいという気持ちを大切にしなければならないことに気付かせる。

③ 遠く離れた場所で、笑顔の仁を思い浮かべている場面

友達でいるために大切なことは、物理的な距離ではなく、お互いを信頼し合うことであるという考えを明確にする。

以上のことを踏まえて、「友情、信頼」についての理解をもとに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることを通して、自己の生き方を深めたいと考え、本主題「互いに信頼し合う友情」を設定した。

４　学習指導過程

<table>
<tr><th>段階</th><th>学習活動・主な発問</th><th>予想される児童の反応</th><th>指導上の留意点☆評価の視点</th><th>時間</th></tr>
<tr><td>導入</td><td>１　事前アンケート結果を知る。
○あなたにとって大切な友達は、どのような友達ですか。</td><td>・いつも側にいてくれる。
・困った時に助けてくれる。
・信頼できる。
・一緒に遊んでくれる。</td><td>・「いつも側にいてくれる」などといった回答から、本時で考える友情についての問題意識をもつことができるようにする。</td><td>4分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">展開</td><td>２　本時の課題を設定する。</td><td colspan="2">離れていても友情を深めていくために大切なことは何だろうか。</td><td rowspan="2">2分</td></tr>
<tr><td>３　教材の登場人物や条件・情況を知る。</td><td colspan="2">【登場人物】【条件・情況】
○ぼく・仁・母・父
ぼくが転校することを仁に言えずに悩んでいた。一番の親友であり続けるためにタブレットを使えば会話できることを提案してみる。</td></tr>
</table>

	4　教材「離れていても」の読み聞かせを聞き、話し合う。			29分
	①転校のことを伝えたぼくと伝えられた仁は、それぞれどのような気持ちだったでしょうか。	ぼく…離れたくない。 タブレットを使えば友達でいられる。 タブレットで会話できるから大丈夫。 そこまで言わなくても。 仁…離れたくない。 友達でいたい。 友達でなくなる。 転校したら無理だよ。 タブレットを使ったって直接会えないと寂しいよ。 すぐ会えないから友達でいられない。	・両者ともに離れたくないという気持ちはあるが、物理的な距離の不安と親友でいられなくなるのではないかという心理的な不安があるという人間理解ができるようにする。 ☆二人の登場人物の心情をそれぞれとらえることで、友達でいたいという気持ちがありつつも揺れている心情を多面的・多角的に考えようとしている。	
	②父の姿や会話から、ぼくは何に気付いたのだろうか。	・離れても大丈夫。 ・オンラインでもしっかり話し合える。 ・信頼が大切。 ・お互いが思い合うことが大切。	・互いに信頼し合う思いがあれば、ぼくの悩んでいたことが解決できるかもしれないと気付き、ぼくの考えや心情を考えられるようする。	
	③遠く離れた場所で、笑顔の仁を思い浮かべているとき、ぼくはどのような思いだっただろうか。	・離れていても信頼し合っていれば友達だ。 ・オンラインでつながることができてよかった。 ・これからもずっと友達だ。	・友達でいるために大切なことは、物理的な距離ではなく、お互いを信頼し合うことであるという考えを明確にする。	

	④友情を深めていくために大切なのはどのようなことだろうか。	・信頼しあることが大切。 ・お互いを思い合うことが大切。	・思考ツール（X チャート）に個人の考えをまとめ、グループ内で話し合う。	
終末	5　学習を振り返りながら、今後の友情の深め方について考える。	・離れていても友達でいるために大切なことは、お互いに信頼し合うことだと分かった。これからは、友達との信頼関係を大切にして生活していきたい。	・導入で使用したアンケートに触れながら振り返ることができるようにする。 ☆本時に話し合った内容やXチャートでまとめられたクラスの考えなどを基に、道徳的価値について考えを深めたり、広げたりしている。(ワークシート) ・学級内にみられる素敵な友情を、教室内に掲示されている写真から紹介する。	10分

5　他の教育活動との関連

事前指導	道徳科	事後指導
特別活動（年間） 日常生活における道徳的実践の指導の充実を図り、集団の一員として自己をよりよく生かすことができるようにする。 特別活動（年間） 「たてわり活動」 他学年との交流を通して、学年が違ったとしても友情を深めていこうとする態度を育てる。	（４月） 教材名 「友達だからこそなやむこと」 より良い友達関係を築くために大切なことに気付き、相手の気持ちや立場を想像しながら、互いに信頼し合い、友情を深めようとする心情を育てる。 （１０月） 教材名 「離れていても」 物理的な距離ではなく、信頼しあうことが友情を深めるために大切であることに気付き、よりよい友人関係を築いていこうとする態度を育てる。	特別活動(１１月) 修学旅行 同じクラスの仲間の一人一人の良さを見つけ、絆を深めていこうとする態度を育てる。 特別活動（３月） 卒業式 卒業して離れても互いを信頼し合い、よりよい友人関係を築いていこうとする態度を育てる。

家庭との連携
・週報や学級懇談会を通して、道徳の授業内容について知らせ、学校と家庭で共通理解のもと、家庭でも関わり方、接し方について話し合ってもらう。

6　評価の視点

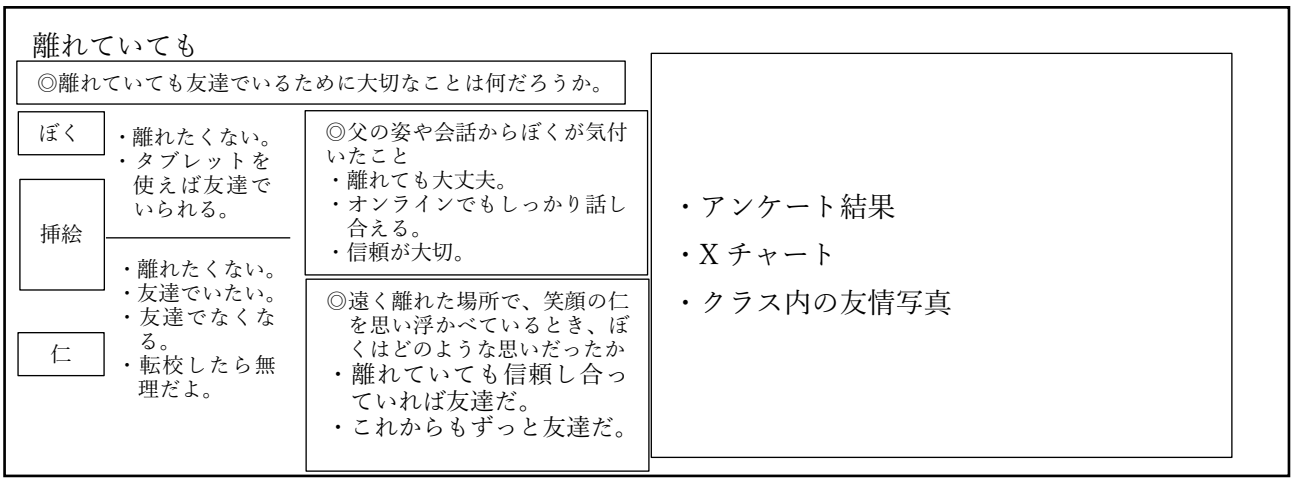
【物事を多面的・多角的に考えている様子】

・教材や日常生活を通して、物理的な距離が離れてしまっても友情を深めようとする場面について、様々な視点から多面的、多角的に考え、話し合っている。

【道徳的諸価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

・友達と互いに信頼し合い、学びあって友情を深め、離れてしまっても努力を続けることでさらに友情を深めることができることについて自己を見つめながら自分との関わりで考えている。

7　板書計画


離れていても
◎離れていても友達でいるために大切なことは何だろうか。
ぼく
・離れたくない。
・タブレットを使えば友達でいられる。
挿絵
仁
・離れたくない。
・友達でいたい。
・友達でなくなる。
・転校したら無理だよ。
◎父の姿や会話からぼくが気付いたこと
・離れても大丈夫。
・オンラインでもしっかり話し合える。
・信頼が大切。
◎遠く離れた場所で、笑顔の仁を思い浮かべているとき、ぼくはどのような思いだったか
・離れていても信頼し合っていれば友達だ。
・これからもずっと友達だ。
・アンケート結果
・X チャート
・クラス内の友情写真